

第 82 回日本公衆衛生学会学術総会
自由集会 ～知ろう・語ろう・取り組もう～
一歩先行く 健やか親子 2 1（第 2 次）第 9 回開催報告

研究協力者 秋山 有佳（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

研究代表者 山縣 然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

研究要旨

本研究班では、毎年秋に開催される日本公衆衛生学会学術総会の際に、「健やか親子 2 1」に関する自由集会を平成 13 年より毎年開催してきた。平成 27 年度 4 月より新たに「健やか親子 2 1（第 2 次）」が開始されたことに伴い、自由集会でも新たに「～知ろう・語ろう・取り組もう～一歩先行く 健やか親子 2 1（第 2 次）」と題し、第 2 次の取り組みや、成育基本法成立後に新たに始まった母子保健の展開について知り、語り合う機会とすべく当集会を企画し、今回はその 9 回目であった。

今回のテーマは、「どうする？健やか親子 2 1！」と題し、健やか親子 2 1 が成育基本法に合流する形となったこと、そして令和 5 年 4 月にこども家庭庁が発足し、母子保健を取り巻く環境が大きく変わっていくことについて、これまでの健やか親子 2 1 と成育基本法との関係を整理し、今後の母子保健について参加者と情報共有、および議論することを目的とした。今回の参加者は 24 名であった。参加者は議題についての講演に熱心に耳を傾け、その後のディスカッションでは、自治体、教育機関、企業の方々、各々の立場で感じる母子保健の大きな変化の局面について、思うことや疑問、各々が関わる母子保健の状況等についての発言があった。様々な立場からの意見交換が行われ、母子保健の現状の課題と今後の在り方について、有意義な意見交換の場となったと思われる。

A. 目的

本研究班では、毎年秋に開催される日本公衆衛生学会学術総会の自由集会に、「健やか親子 2 1」が開始された平成 13 年より「知ろう・語ろう・考えよう！ “一歩先行く” 健やか親子 2 1」と題する集会をシリーズ化し毎年開催してきた。平成 27 年度からは「健やか親子 2 1（第 2 次）」が開始されたことに伴い、自由集会でも引き続き「健やか親子 2 1」に関する情報の共有および意見交換ができる場を設けることとし、新たに「～知ろう・語ろう・取り組もう～一歩先行く 健やか親子 2 1（第 2 次）」

と題した集会を開催した。

今年度は、その第 9 回であり、「どうする？健やか親子 2 1！」と題し、健やか親子 2 1 が成育基本法に合流する形となったこと、そして令和 5 年 4 月にこども家庭庁が発足し、母子保健を取り巻く環境が大きく変わっていくことについて、これまでの健やか親子 2 1 と成育基本法との関係を整理し、今後の母子保健について参加者と情報共有、および議論することを目的とした。

B. 方法

令和5年10月31日(火)～11月2日(木)に茨城県で行われた第82回日本公衆衛生学会学術総会の2日目に申し込みをした。開催日時および場所、予定した内容は以下の通りである。

【日時】

令和5年11月1日(水) 18:30～19:30

【場所】

つくば国際会議場 小会議室 304

【内容】

座長：山縣 然太朗 (山梨大学)

《第1部》

- ・「今度の健やか親子21の位置づけと担う役割とは？」(山梨大学：山縣)

《第2部》

- ・ディスカッション(進行役：山縣)

C. 結果

1. 参加者

当日の自由集会の参加者は24名(大学関係、行政、企業)であった。

2. 発表内容

日時、場所および内容はいずれも予定通りに実施された。当日の実施内容の詳細を以下に示す。

《第1部》

- ・「今後の健やか親子21の位置づけと担う役割とは？」(山縣)

成育基本法ができ、それに基づく成育医療等基本方針が昨年度改正され、「健やか親子21」が国民運動であることが位置付けられた。第1部では、その経緯等の解説や成育基本法ができたことによる今後の母子保健の動向についての見解を講演した。

《第2部》

第1部の講演を受けて、質疑応答、および参加者からの意見、情報交換を行った。

D. 考察

今回の自由集会は、「健やか親子21(第2次)」開始後、9回目の自由集会であった。第1部では、成育医療等基本方針の改定で国民運動として位置づけられた「健やか親子21」の、位置づけられるまでの経緯や、今後の担う役割について講演を行った。

第2部では、第1部の内容を踏まえ、自治体、教育機関、企業の方々、各々の立場で感じる母子保健の大きな変化の局面について、思うことや疑問、各々が関わる母子保健の状況等についての発言があった。様々な立場からの意見交換が行われ、母子保健の現状の課題と今後の在り方について、有意義な意見交換の場となったと思われる。

E. 結論

本年度の自由集会は、第1部では、今後の健やか親子21の位置づけと担う役割についての講演を行い、第2部では、第1部の内容を踏まえ、様々な立場で感じている母子保健の変化や現状、課題等について、参加者からの意見交換や情報共有がなされた。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし